



栗東西中学校・学校だより No4

教育目標『心豊かで しなやかな生徒の育成』

2026(令和8)年7月1日
栗東西中学校

つ な が り



生徒のみなさんへ

「人権を大切にすること」
みんなの力で社会を、学校を、学級をより良く変えること
～修学旅行のスマホ持参にむけての素敵な取組～

今年の修学旅行では、実行委員さんから「スマホを持っていきたい」という声があがりました。
そこで実行委員さんたちがとった行動は……

① 実行委員さんたち自身で

その利点とリスクを検討

○なぜスマホが必要なのか、いつ必要なのか？

も 持っていくことで助かる人がいる

(合理的配慮)

○スマホを持っていくことで危険なことや心配なことは？

リスク管理(安心・安全)

○スマホを持っていきたい人と持っていくことが不安な人、持っていない人、それぞれの気持ちは？

② 3年生全体へのアンケート実施

③ スマホ持参するときの不安なところや

心配なところの対策を検討しルールを作って提案

④ 実行委員担当の先生と協議

⑤ 実行委員担当の先生から職員会議に提案

すべての立場の人の意見を想像

して尊重する(少数意見の尊重)

【修学旅行】

⑥ 事後のふりかえり、
良かった点・悪かった点

～実行委員のふりかえりから～

- 自分たち生徒の意見も認めてもらえると身をもって感じた。
- 自分たちの意見が発信できて、納得できる部分が多いと感じたので良かったと思います。
- ルールを守らなかったことを反省。
- 信頼されてるなって感じがとてもした。

おんがくさい
音楽祭にむけて

「息を合わせる」



「息の合ったプレー」という言葉があります。何人かが言葉を交わさなくても見事な連携をして、素晴らしいプレー（演技）をするという意味ですが、クラスの合唱で一番大切なのは文字通り「息を合わせ」ことなんだろうなと思っています。息を吸うところから全員の気持ちと動きが合う。それができたときに背中がぞくぞくするような気持ちのいい合唱ができることを私は感じてきました。今年もみなさんの、このクラスで、このメンバーでしか歌えない、一生に一度の合唱に期待しています。

かつてこんなことがありました。草津市の中学校で担任をしていました。その学校は合唱にかける気持ちが強く、とても熱心でした。合唱の取り組みが苦手な私に、クラスのリーダーが「任せといて、自分たちでやるし、先生にも教えるから。」と言ってくれました。そのときから私は合唱の取り組みが苦手じゃなくなりました。今では合唱コンクールが楽しみでしかたがないですし、その時々クラスのみんな顔をしてどんな歌を歌っていたか、今でも覚えています。

また、私が栗東西中学校で初めて担任をしたときのことです。1年生のクラスで「マイバード」を歌いました。「みんなで歌おう」という歌詞で始まるのですが、練習中、何人かの生徒がふざけてクラスの仲間が廊下にいるのに教室の鍵をかけて締め出していました。廊下に締め出された生徒は悲しくて帰ってしまいました。その様子を見た私は「なにがみんなで歌おうやねん」と怒りました。その翌日は歌の練習の時間にクラスみんなで話し合いました。そして締め出された生徒はクラスに戻ってきてくれました。

合唱コンクールの取り組みから、きっとみなさんはいろんなことを感じると思います。やり遂げた達成感、仲間との協働、あるいはやりきれなかった後悔。そのすべてが大切な思い出として、きっとあなたの心に残り、あなたを成長させると信じています。

栗東西中学校区子育て教育Nextプロジェクト2026

であ
あたらしい出会いに

まわ
周①のみんなに

つな②ってくれて

③もに育てられて

④まれてくれて

今年も栗東西中学校区の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・地域全体で「ありがとう」を大切にする取組を行います。生徒のみなさんからたくさんの「ありがとう」の声を楽しみにしています。

「ありがとう」は勇気をくれます。自分が大切な存在だと気づかせてくれます。仲間とのつながりを結んでくれます。目標に向かって挑戦しようと思わせてくれます。失敗しても立ち上がってもう一度とれます。「ひとりじゃない」とささやいてくれます。

「ありがとう」を大切に過ごしましょう。